

# 熊楠ワークス

## 四手井さんに南方賞授与

### 京都市内で授賞式



協中会長から賞状を受ける四手井さん(中央) = 5月11日、京都市内のホテルで

南方熊楠邸保存顕彰会(会長・脇中孝田辺市長)は五月十一日、第八回南方熊楠賞の授賞式を京都市内のホテルで行い、四手井綱英さん(86)に元京都府立大学学長に南方賞と副賞、記念のトロフィーを贈りました。

四月十八日に和歌山県田辺市で予定していた授賞式が、四手井さんの体調がすぐれず延期になっていました。五月になって体調を回復されたことから、選考委員長の吉良龍夫さん(滋賀県顧問)、選考委員の佐々木敏裕さん(朝日新聞大阪本社科学部長)、高橋徹さん(同学芸部編集委員)、脇中孝田辺市長(田辺市長)、顕彰会役員が京都市に出向き、授賞式を行いました。

受賞に当たって四手井さんは「南方賞をいただく資格があるとは思っていませんが、森林生態学の分野における人材育成とともに、知床のナラ林や西表島の照葉樹林伐採阻止、新宮市の浮島の森の調査・復元などに対する多少の功績が認められたものと思います」と謝辞を述べました。

発行所  
南方熊楠邸保存顕彰会  
和歌山県田辺市湊1619-8  
田辺市民総合センター3階  
田辺市教育委員会文化振興課内  
TEL.0739(22)5300(代表)

## CONTENTS

- 2~4面 熊楠の植物標本から
- 5面 普段着の南方熊楠
- 6面 熊楠ゆかりの地①②

中瀬喜陽氏

- 7面 万呂の天王池と須佐の森の生き物たち
- 8面 「南方を訪ねて」

後藤伸氏  
参加者募集

## 神島の 隠花植物を調査

南方賞の椿氏が2年計画で

第三回南方熊楠賞(一九九三年)の受賞者で菌類分類学の権威、椿啓介・筑波大学名誉教授(73)に東京都世田谷区にのグループが今年五月から、南方熊楠ゆかりの神島(国指定天然記念物)を中心に、紀伊半島南部の隠花植物の調査を開始しました。

調査・研究は、東京の藤原ナチュラルヒストリー財団の助成を受けて、二年計画で実施します。熊楠は半生を過ごした和歌山県田辺市を中心に、紀伊半島南部で菌類、粘菌類、藻類などを熱心に採集しましたが、その研究は引き継がれていません。椿さんは「南方熊楠が手がけた隠花植物の研究を継承したい」と財団に申請し、助成が認められました。

研究グループは第一回の調



神島の植物を調査する椿さん(左)

査として、五月十八日に神島に上陸し、菌類や粘菌類を採集。二十五日には神島周辺の海域で海藻類の潜水調査を実施しました。

調査メンバーは次の皆さんです。  
椿啓介(筑波大名誉教授)▽徳増征二(同助教授)▽小川吉夫(日大助教授)▽中桐昭(財団法人発酵研究所主席研究員)▽安藤勝彦(協和発酵工業主任研究員)▽出川洋介(神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員)▽神谷充伸(神戸大学内海域機能研究センター助手)